「研究業績書」記載上の留意事項

　この業績書は，「著書，学術論文」，「学会発表・講演等」，「月刊誌・書評・報告集・コラム等」，「演奏・作品・出場競技等」及び「競争的外部資金」についての業績を記入するものである。

「著書，学術論文」等（別記様式第４－１号）

１．発行済み又は掲載が予定されているすべての著書・学術論文等について作成すること。掲載予定のものについては，受理済みであることを備考欄に明記すること。

２．昇任に係る書類作成の際は，現職採用等の際に提出した著書・学術論文等については，備考欄にその旨表示すること。

３．国際的又は全国的な学会・機関等（これらに相当する学会・機関等を含む。）が刊行するレフリー制度の整った学術雑誌，学会誌，紀要等に審査を経て掲載された論文については，備考欄に「レフリー論文」と記入すること。

４．「著者名又は執筆者名」欄には，共著の場合は，原則として本人の氏名を含め著者全員の氏名を当該著書等に記載された順に記入すること。ただし，著者の人数が10名を超える場合は，第１著者，編者その他主要な役割を果たした著者等及び本人の氏名を記入し，それ以外の著者については「他○○名」のように記入して差し支えない。なお，共著の場合で，本人が第１著者以外であっても，特に重要な役割を果たした場合は，備考欄にその旨記載すること。

５．「著書，学術論文等の名称」の欄には，【著書】，【学術論文】，【学会発表・講演等】及び【その他（月刊誌・書評・報告集・コラム等）】の順に，それぞれ年月順に記入し，それぞれに通し番号を付すこと。

６．「頁数」の欄には，著書のうち単著は総頁数を，共著は総頁数と併せて本人執筆部分の頁数を記入する。学術論文の場合は〇〇頁～〇〇頁と記入すること。

７．【学会発表・講演等】は，最近５年間の業績を記入すること。

８．【その他（月刊誌・書評・報告集・コラム等）】は，最近５年間の業績を記入すること。

９．主要学術論文等の概要を添付すること。

10．著書とは，学術図書，翻訳書，指導書，学習指導資料及び教科用図書等をいう。

11．学術論文とは，学会・機関等の刊行する学術雑誌，学会誌，紀要等に掲載されたものをいい，その内容は，所属学会等の水準を保つものとする。

12. 昇任に係る書類作成の際は，教育に関する学術論文については，備考欄に「教育に関する学術論文」と記入すること。

13．「教育実践に貢献する論文（研究成果が，学校（学校教育法第１条に規定する学校をいう。）における教育実践に貢献する内容，又は広く教育活動に生かされる内容を有している論文をいう。）」を有する場合は，論文の概要を添付すること。

　（当該論文を４編以上有する場合は，それらのうち４編の論文の概要を添付すること。）

「演奏・作品・出場競技等」（別記様式第４－２号）

　実技系芸術分野及び体育分野で以下の業績がある者は，提出すること。

１．記載方法は，上記１～６を参照すること。

２．演奏とは，国際的又は全国的なレベルのコンクール等への出場等

３．作品とは，国際的又は全国的なレベルの展覧会における入選・受賞作品等

４．出場競技とは，国際的又は全国的な公認競技会への出場・入賞

５．実技系芸術分野にあっては，２.３.の催しの審査員やその企画等の実績を，体育分野にあっては，４.の競技会での審判・指導等の実績を研究業績とすることができる。

「競争的外部資金」（別記様式第４－３号）

１．最近５年間の申請状況を記載し，採択されたものについては，備考欄にその旨明記すること。

２．最近５年間に申請実績が無い場合は，「無し」と記載し提出すること。